科目名【英】	保健体育 Health and Physical Education			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	3年生	学　期	1.2学期	曜　日	水曜	時　限	3限

担当教員	浅田　雅之	実務者経験	1988年日本体育大学卒業保健体育科の教員資格取得 1992年アサダ接骨院・鍼灸院開業、2008年デイサービス開業

学習内容	鍼灸師としてスポーツの現場でも活躍できるような知識、技術を学ぶ。
到達目標	アスレチックトレーナーとしての心得を理解し、スポーツ現場で慌てず的確な応急処置(ＲＩＣＥやテーピング)が行え、世界で戦うトップアスリートからスポーツ愛好家までトレーニング指導やストレッチング、スポーツマッサージなどのコンディショニングからアフターケアまでトータルにボディケアの基礎を習得していく。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料
留意点 備　考	毎週リポートの提出、採点し平常点とする。試験がいくらできても授業態度の悪い学生は再試験。 再試験評価：再試験50％平常点40％出席点10％

成績評価	本試験70%　平常点30%

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	■　今年どのような授業をしていくのか？ ■　自己紹介（自己アピール） ■　アスレチックトレーナーの現状、活動報告
2	コーディネーション トレーニング	■　神経系の発達を促すトレーニングの基礎から実践
3	コーディネーション トレーニング	■　運動神経はどのようにすればよくなるのか？
4	アイシング	■　アイシングとは？　　■　アイシングのやり方？
5	アイシング	■　いつまで冷やすのか？　■　いつから温めるのか？
6	SAQトレーニング	■　SAQとは？ ラダー、ミニハードル、リアクションボールなどを用いて理論と実技
7	SAQトレーニング	■　バランスボード、バランスパットボランスボールなどを用いて理論と実技
8	ホスピタリティ 接遇サービス	■　アスレチックトレーナー（鍼灸師）の心得、マナー ■　ＣＳ（カスタマーサティスファクション）
9	臨床スポーツ医学	■　代表的なスポーツ障害・外傷について
10	臨床スポーツ医学	■　応急処置について【ラップ療法】
11	試験	試験
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	テーピング	■　テーピングの理論
2	テーピング	■　ホワイトテーピングの切り方、貼り方、はがし方
3	テーピング	■　足関節のホワイトテーピングの1例実技
4	テーピング	■　ホワイトテーピングの足関節、指関節のテーピング実技
5	テーピング	■　キネシオテーピングの足関節、指関節のテーピング実技
6	ストレッチング	■　腰痛のストレッチング、肩こりのストレッチング (スタティック、バリスティック、ストレッチポール)
7	スポーツマッサージ	■　スポーツマッサージからリンパマッサージの理論と実技
8	スポーツ栄養学	■　試合前には、どんなものを摂取すればよいのか? カーボローディングなどの食事の方法
9	トレーニング実技	■　フットサルコートを利用してサッカーの練習とゲーム
10	スポーツ鍼灸実技	■　スポーツ鍼実技 (パルス通電で鍼の角度や深さ体感する)
11	試験	試験
12	試験	試験

科目名【英】	マネジメント学 Office Management			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	2学期	曜　日	金曜	時　限	1限

担当教員	西川　和義	実務者経験	2004年～西川東洋医学研究所　院長

学習内容	開業に向け、必要な知識を学ぶ。
到達目標	将来に向けて、自己のビジネスプランを作成する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】なし　　【配布資料】あり
留意点 備　考	

成績評価	本試験（レポート）＋出席点

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成①	独自性、ベンチャー、知の高度化、バイタリティ、専門化、知の連鎖、工夫・改善・開発等の要素の意味の学習
2	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成②	ビジネスプラン作成方法について
3	参考になる他の業界の動き、 ベンチャービジネスから学ぶ①	国内外のベンチャービジネスの事例。オンリーワン志向となる病院では？ベンチマーク、複合技術等
4	参考になる他の業界の動き、 ベンチャービジネスから学ぶ②	まとめ
5	開業に向けて	接遇マナー
6	開業に向けて	接遇マナー
7	開業に向けて	マーケティング
8	開業に向けて	患者さん対応
9	開業に向けて	介護現場
10	開業に向けて	介護現場
11	開業に向けて	保険診療
12	開業に向けて	まとめ

科目名【英】	臨床医学総論② Clinical Medicine in General			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：火曜 2学期：木曜 3学期：金曜	時　限	1学期：2限 2学期：3限 3学期：2限

担当教員	髙木　健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当

学習内容	現代医学的な観点からの診察学〔検査法・主な症状の診察法など〕・治療学・臨床心理を学ぶ。 鍼灸師に必要な項目のみならず、幅広く現代医学的鑑別診断による病態把握を学ぶ。
到達目標	症候から現代医学的な観点で鑑別診断ができる。臨床の場において実際に活用できるレベル、 かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要。臨床医学各論との関連を復習する。
使用教材	配布プリント「臨床医学総論」
留意点 備　考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	各学期に約8回小テスト実施。期末試験80％＋小テスト20％で評価。再試験は試験100％、小テストは含まない。

授業計画【内容･目標】		
1	診断学32	全身状態の診察15【皮膚・粘膜・皮下組織４】
2	診断学33	全身状態の診察16【皮膚・粘膜・皮下組織５】
3	診断学34	全身状態の診察17【皮膚・粘膜・皮下組織６】
4	診断学35	全身状態の診察18【皮膚・粘膜・皮下組織７】
5	診断学36	局所状態の診察１【頭頸部１】
6	診断学37	局所状態の診察２【頭頸部２】
7	診断学38	局所状態の診察３【胸部・腹部】
8	診断学39	局所状態の診察４【直腸・肛門・外性器・背部】
9	診断学40	局所状態の診察５【四肢】
10	診断学41	そのほかの診察【関節可動域・救急時・女性・小児・高齢者】 臨床検査１【概要・尿検査１】
11	試験案内/解説	試験の案内および解説、再試験に向けての案内
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	診断学42	臨床検査２【尿検査２・糞便検査・血液検査】
2	診断学43	臨床検査３【血液生化学検査】
3	診断学44	臨床検査４【免疫学的検査】
4	診断学44	臨床検査４【自己抗体検査】
5	診断学44	臨床検査４【喀痰検査】
6	診断学44	臨床検査４【髄液検査】
7	診断学44	臨床検査４【関節液検査】
8	診断学45	生命徴候の診察１【体温】
9	診断学46	生命徴候の診察２【脈拍】
10	診断学47	生命徴候の診察３【血圧１】
11	試験案内/解説	試験の案内および解説、再試験に向けての案内
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	診断学48	生命徴候の診察４【血圧２】
2	診断学49	生命徴候の診察５【呼吸】
3	診断学50	身体計測・神経系の診察１【感覚系の診察１】
4	診断学51	神経系の診察２【感覚系の診察２】
5	診断学52	神経系の診察３【反射の診察】
6	診断学53	神経系の診察４【脳神経系の診察１】
7	診断学54	神経系の診察４【脳神経系の診察２】
8	診断学54	神経系の診察４【髄膜刺激症状の診察１】
9	診断学55	神経系の診察５【運動機能の診察２】
10	診断学56	神経系の診察６【運動機能の診察２】
11	診断学57	神経系の診察７【運動機能の診察３】
12	治療学 臨床心理	治療学 臨床心理

科目名【英】	臨床医学各論③ Clinical Medicine Part			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	3年生	学　期	1.2学期	曜　日	1学期：月曜 2学期：木曜	時　限	1学期：2限 2学期：1限

1学期 担当教員	中村　沙樹	1学期 実務者経験	医療法人社団しおさき会 しおさき鍼灸施術所（2017年４月～2022年３月）

学習内容	臨床医学各論は各疾患の症状や検査などについて学ぶもので解剖学や生理学の基礎を基に各疾患について深く講義していく。
到達目標	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念、疫学、病因、病態生理、症状、診断、治療などを理解し、臨床の場において実際に活用できるレベル、かつ国家試験に対応できるレベルまでを学ぶことを目標とす

準備学習 時間外学習	1年次、2年次に学んだ解剖学・生理学の復習
使用教材	【教科書】臨床医学各論　　【配布資料】あり
留意点 備　考	なし

成績評価	各学期に小テストを実施。期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	肝胆膵疾患	肝疾患
2	肝胆膵疾患	肝疾患
3	肝胆膵疾患	胆道疾患
4	肝胆膵疾患	胆道疾患
5	肝胆膵疾患	膵臓疾患
6	血液疾患	赤血球疾患
7	血液疾患	白血球疾患
8	血液疾患	白血球疾患
9	血液疾患	リンパ　出血性素因
10	その他領域	皮膚科疾患
11	まとめ	まとめ
12	試験	試験

２学期 担当教員	中土　育弘	実務者経験	2016年4月～2019年3月　鍼灸師学科　専任教員として勤務 2023年10月～　鍼灸接骨院開業

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習を行う。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備　　考	

成績評価	平常点【小テスト】（30点）、定期試験（70点）にて評価

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	消化器系疾患１	口腔疾患、食道疾患、胃・十二指腸疾患について説明できる。
2	消化器系疾患２	胃・十二指腸疾患、腸疾患について説明できる。
3	消化器系疾患３	腹膜、その他の消化器疾患について説明できる。
4	循環器疾患１	循環器の解剖生理学、心臓疾患について説明できる。
5	循環器疾患２	動脈疾患、血圧異常、その他の循環器疾患について説明できる。
6	一般外科	熱傷、凍傷と凍瘡、ショック、救急処置、心肺蘇生術について説明できる。
7	麻酔科１	全身麻酔の種類と方法・特徴、脊髄くも膜下麻酔について説明できる。
8	麻酔科２	硬膜外麻酔・表面麻酔・浸潤麻酔・伝達麻酔について説明できる。
9	耳鼻科疾患	耳の構造、耳鼻科疾患について説明できる。
10	精神科疾患	神経症、統合失調症、うつ、心身症、その他の疾患について説明できる
11	振り返り	まとめの講義
12	定期試験	定期試験

科目名【英】	リハビリテーション医学② Rehabilitation Medicine			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	96	単　位	6
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	水曜	時　限	1学期：1.2限 2.3学期：1限

担当教員	中山　伸治	実務者経験	1985年～大学病院、リハビリテーション専門病院にて急性期から慢性期の理学療法をおこない、整形外科的疾患・スポーツ障害の理学療法を専門とする

学習内容	各疾患の障害の特徴を把握し、リハビリテーション評価法、運動療法や物理療法などの治療法を習得する。 リハビリテーション医学で学んだ疾患別リハビリテーションを実践するために、実技を通じて必要な評価法と治療法の知識と技術を学んでいく。
到達目標	正しい知識を有し、適切なリハビリテーションを施行できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】新版　リハビリテーション医学 、配布資料
留意点 備　考	

成績評価	本試験100%

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	整形外科疾患のリハビリテーション④	脊椎疾患の評価とリハビリテーションについて
2	整形外科疾患のリハビリテーション⑤	脊髄損傷のリハビリテーションについて
3	整形外科疾患のリハビリテーション⑥	切断のリハビリテーションについて
4	整形外科疾患のリハビリテーション⑦	関節リウマチのリハビリテーションについて
5	整形外科疾患のリハビリテーション⑧	スポーツ傷害のリハビリテーションについて
6	神経疾患のリハビリテーション①	脳血管障害とは？
7	神経疾患のリハビリテーション②	脳血管障害の治療とリハビリテーションについて
8	神経疾患のリハビリテーション③	パーキンソン病の病態とリハビリテーションについて
9	神経疾患のリハビリテーション④	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症のリハビリテーションについて
10	神経疾患のリハビリテーション⑤	筋萎縮性側索硬化症の概要とリハビリテーションについて
11	まとめ	ふり返り・まとめ
12	定期試験	定期試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	神経疾患のリハビリテーション⑥	末梢神経障害のリハビリテーションについて
2	内部障害のリハビリテーション①	虚血性心疾患の概要
3	内部障害のリハビリテーション②	虚血性心疾患のリハビリテーションについて
4	内部障害のリハビリテーション③	呼吸器疾患のリハビリテーションについて
5	内部障害のリハビリテーション④	糖尿病治療とリハビリテーションについて
6	内部障害のリハビリテーション⑤	腎・尿路疾患のリハビリテーションについて
7	がんのリハビリテーション	がん治療とリハビリテーションについて
8	高齢者のリハビリテーション①	骨粗鬆症と廃用症候群のリハビリテーションについて
9	高齢者のリハビリテーション②	認知症について
10	小児疾患	脳性麻痺のリハビリテーションについて
11	まとめ	ふり返り・まとめ
12	定期試験	定期試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	アイシングについて	クライオセラピー（寒冷療法）の理論について
2	アイシング実習	クライオセラピー（寒冷療法）実習
3	体性機能不全	体性機能不全とは？体性機能不全の症状と評価について
4	ストレッチングの実習	ストレッチングの理論と正しいストレッチング指導のやり方を実習
5	姿勢について	良い姿勢とは？　姿勢の静的・動的評価の実習
6	歩行について	歩行分析による異常歩行の分類と特徴について
7	関節機能不全に対するアプローチ	関節の凹凸の法則に基づいた基本的な関節アプローチ法の実習
8	体幹トレーニング	コアコンディショニングとは？　トレーニング実習
9	国試対策	リハビリテーション医学国司対策小テスト①
10	国試対側	リハビリテーション医学国司対策小テスト②
11	国試対策	リハビリテーション医学国司対策小テスト③
12	定期試験	定期試験

科目名【英】	東洋医学臨床論③ Clinical Oriental Medicine			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	1学期	曜　日	火曜	時　限	1限

担当教員	松本　栞	実務者経験	2013年3月～2014年9月　鍼灸整骨院に所属 2024年～鍼灸院勤務　2025年～開業

学習内容	症候・疾患に対して現代医学的・東洋医学的観点からの病態生理、治療方法、施術の適応判断を学ぶ。
到達目標	臨床において現代医学的・東洋医学的両方の観点から症候・疾患を分析し、治療方法を考える力を身につける。 国家試験合格に必要な知識を身につける。

準備学習 時間外学習	東洋医学的観点からの診断において、東洋医学概論の基礎知識の復習が必要となる。 現代医学的観点からの診断において、臨床医学各論、臨床医学総論の復習・関連付けが必要となる。
使用教材	教科書『東洋医学臨床論（はりきゅう編）』（東洋療法学校協会編）　配布資料・B5ファイル
留意点 備　考	特になし

成績評価	小テストを実施、学期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	スポーツ障害①	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
2	スポーツ障害②	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
3	スポーツ障害③	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
4	スポーツ障害④	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
5	スポーツ障害⑤	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
6	高齢者医療	現代医学的病態把握
7	高齢者医療	現代医学的病態把握
8	高齢者医療	現代医学的病態把握
9	診察の記録・評価法	施術記録（ＳＯＡＰ分類）・痛みの評価
10	診察の記録・評価法	各種領域の評価法（耳鼻科・消化器科・婦人科・泌尿生殖器科・精神科・高齢者）
11	ふりかえり	1学期内容まとめ
12	試験	試験

科目名【英】	関係法規【Legal Issues in Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	3年生	学　期	1.2学期	曜　日	金曜	時　限	1学期1限 2学期2限

担当教員	山口　隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	はり師・きゅう師の国家試験、開業に必要な法規を学ぶ。
到達目標	・はり師・きゅう師国家試験問題に対応できるようになる。 ・開業時に必要な法律が理解できるようになる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】関係法規第7版
留意点 備　考	

成績評価	本試験70%　平常点30%

授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	法規とは？　評価方法説明
2	はり師・きゅう師に関する法律①	免許と試験
3	はり師・きゅう師に関する法律②	免許と試験
4	はり師・きゅう師に関する法律③	施術に関する注意　　施術所に関する規則
5	はり師・きゅう師に関する法律④	名称制限・広告制限・罰金・罰則
6	法と実定法	法とは何か　　法の種類
7	国試演習①	総合領域
8	国試演習②	総合領域
9	国試演習③	総合領域
10	国試演習③	総合領域
11	振り返り	まとめ
12	試験	試験

科目名【英】	はりきゅう実技⑨～臨床応用学I～ Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	144	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期:木曜 23学期:火曜	時　限	1学期：2 3限 2 3学期：1 2限

1学期 担当教員	冨倉　捷矢	実務者経験	2018年4月～2021年3月　機能訓練士としてデイサービスに所属 2021年4月～2022年3月　鍼灸整骨院に所属　その後開業

学習内容	各部位・各症例の臨床的な治療方法を学ぶ。
到達目標	各症例の臨床的治療方法と各部位の安全かつ効果的なはり術の習得。

準備学習 時間外学習	解剖学・経絡経穴概論の予習が必要
使用教材	【教科書】経絡経穴概論　　【配布資料】あり
留意点 備　考	副教材として解剖学の教科書を持参して受講すること

成績評価	学期末試験100％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	背部の刺鍼	■　背部、肩甲骨周囲の刺鍼方法 目標：背部、肩甲骨周囲の安全な刺鍼方法を習得する。
2	肩こりの治療	■　肩こりの臨床的治療 目標：肩こりの臨床的治療方法を習得する。
3	腰部の刺鍼	■　腰部の刺鍼方法 目標：腰部の安全な刺鍼方法を習得する。
4	腰痛の治療	■　腰痛（筋・筋膜性腰痛）の臨床的治療 目標：腰痛の臨床的治療方法を習得する。
5	殿部の刺鍼	■　殿部の刺鍼方法 目標：殿部の安全な刺鍼方法を習得する。
6	坐骨神経痛	■　坐骨神経痛の臨床的治療 目標：坐骨神経痛の臨床的治療方法を習得する。
7	頸部の刺鍼	■　頸部の刺鍼方法 目標：頸部の安全な刺鍼方法を習得する。
8	頚椎症 ストレートネック	■　頚椎症・ストレートネックの臨床的治療 目標：頚椎症・ストレートネックの臨床的治療方法を習得する。
9	膝周囲の刺鍼	■　膝周囲の刺鍼方法 目標：膝周囲の安全な刺鍼方法を習得する。
10	膝痛	■　膝痛（変形性膝関節症）の臨床的治療 目標：膝痛の臨床的治療方法を習得する。
11	肩部の刺鍼	■　肩部の刺鍼方法 目標：肩部の安全な刺鍼方法を習得する。

12	五十肩	■　五十肩（肩関節周囲炎）の臨床的治療 目標：五十肩の臨床的治療方法を習得する。

2 3学期 担当教員	柳岡　比登美	実務者経験	1999年免許取得、病院リハビリ科勤務・在宅訪問治療院勤務・鍼灸整骨院勤務を経て開業。主に女性や高齢者に特化した臨床経験が豊富です。

学習内容	現代医学的な鍼灸治療に必要な基礎知識を修得し、適切で安全な鍼灸治療方法を学習します
到達目標	臨床に向け治療の適不適の判断・刺鍼角度・安全深度・道具の選び方・ﾍﾞｯﾄﾞｻｲﾄﾞでの姿勢を習得すること

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学・はりきゅう理論など座学で得た基礎知識の復習をお願いいたします
使用教材	随時資料配布いたします
留意点 備　考	白衣、使用道具の準備・手指の衛生

成績評価	実技試験(100％)の結果に授業１コマ欠席(−2.5点)を加算し、成績評価とします

２学期　授業計画【内容･目標】		
2	オリエンテーション	シラバスを用いたガイダンスと手技確認テスト
4	基本刺鍼	道具の選び方と公衆衛生の意識付け・通電機器の設定
6	基本刺鍼	人体の触れ方と骨度法・危険回避
8	基本刺鍼演習１	頭痛　・　肩こりに対する鍼治療（肩井穴の刺鍼法）
10	基本刺鍼演習２	頭痛　・　肩こりに対する鍼治療（大後頭神経・小後頭神経刺鍼）
12	基本刺鍼演習３	腰下肢痛に対する鍼治療　（椎間関節部、志室穴刺鍼）
14	基本刺鍼演習４	腰下肢痛に対する鍼治療　（上殿皮神経刺鍼）
16	基本刺鍼演習５	坐骨神経に対する鍼治療（坐骨神経点、委中穴、足根管
18	基本刺鍼演習６	膝関節周囲の鍼治療　（縫工筋アプローチ、鵞足、オスグッド）
20	基本刺鍼演習７	肩関節周囲の鍼治療（QLS、大円筋・小円筋アプローチ）
22	基本刺鍼実践	手技のフィードバック・手技のフォローアップ
24	定期試験	定期試験

３学期　授業計画【内容･目標】		
2	オリエンテーション	シラバスを用いたガイダンスと２学期刺鍼内容振り返り
4	基本刺鍼演習１	シワ・たるみの原因と美容鍼の効果（顔面の皮膚構造の復習）
6	基本刺鍼演習２	シワ・たるみの原因と美容鍼の効果（有害事象・頭鍼）
8	基本刺鍼演習３	美容鍼灸の効果（皮膚・筋膜・筋・神経への各アプローチ）
10	基本刺鍼演習４	顔面神経麻痺の鍼治療
12	基本刺鍼演習５	不眠症に対する鍼治療
14	基本刺鍼演習６	仙骨周囲部への鍼治療（中髎穴刺鍼・灸頭鍼）
16	基本刺鍼演習７	仙骨周囲部への鍼治療（陰部神経刺鍼）
18	基本刺鍼演習８	臨床上、頻回遭遇する症状の鍼治療（花粉症・ぎっくり腰）
20	基本刺鍼実践	患者対応と治療計画・臨床に基づいて実践する（試験前準備）
22	試験	試験
24	基本刺鍼実践	手技のフィードバック・手技のフォローアップ

科目名【英】	はりきゅう実技⑩～中医診断治療学Ⅲ～ Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	月曜	時　限	1,2学期：1限3学期：2限

担当教員	副田　恵子	実務者経験	1999年4月～鍼灸院を開院 鍼灸院及び往診にて鍼灸施術をおこなう

学習内容	実際の臨床で使う経絡経穴を使用し、手技の応用や体表観察の技術を疾患ごとに身につける。
到達目標	１、２年生で習得した手技を発展させ、臨床に生きる治療技術の習得を目標とする。

、

準備学習 時間外学習	各疾患の東洋医学的理解の復習
使用教材	鍼灸道具　配布プリント
留意点 備　考	副教材として経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	毎授業に小テストを実施。期末試験80％程度＋小テスト20％程度で評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	頚肩腕痛①	２年時で学んだ手技の理解と確認。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	頚肩腕痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	顔面痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	顔面痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	肩関節痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	肩関節痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	腰下肢痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	腰下肢痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	脱毛症①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	復習	
11	試験	試験
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	眩暈①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	眩暈②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	顔面麻痺①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	顔面麻痺②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	便秘・下痢①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	便秘・下痢②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	歯痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	歯痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	眼精疲労①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	復習	
11	試験	試験
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	鼻閉鼻汁①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	鼻閉鼻汁②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	耳鳴り・難聴①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	耳鳴り・難聴②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	胸痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	胸痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	試験	試験
8	試験	試験
9	呼吸困難①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	復習	

11	復習	
12	復習	

科目名【英】	はりきゅう実技⑪【臨床応用学Ⅲ】 Practice of Acpuncture and Moxbustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	48	単　位	1
学　年	3年生	学　期	2 3学期	曜　日	2学期:水曜 3学期:木曜	時　限	2学期:2限 3学期:3限

2学期担当教員	小西　未来	実務者経験	医療法人池岡診療所　池岡鍼灸院（2010年～）

学習内容	疾患の鑑別、治療法と技術の習得
到達目標	・よく使用する施術部位の触知、刺鍼が出来る。 ・臨床を想定した声掛け、施術方法、刺鍼方向、安全深度を選択し、実施できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料あり。
留意点 備　考	

成績評価	本試験80%、出席点20%　　本試験は実技と筆記の合計点とする。

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	下肢の神経痛①	主に腰椎に由来する下肢の神経痛を症状とする疾患の鑑別と腰部への刺鍼
2	上肢の神経痛①	主に頸部に由来する上肢の神経痛を症状とする疾患の鑑別と頚部への刺鍼
3	腰痛症	腰痛を主訴とする疾患の鑑別と腰部への刺鍼
4	肩こり①	肩こりを主訴とする疾患の鑑別と肩背部への刺鍼
5	肩こり②	頚部への鍼通電による肩背部へのアプローチ
6	足底腱膜炎の治療	下腿三頭筋、足底部への刺鍼
7	上腕骨外/内側上顆炎	上腕骨外側上顆炎と上腕骨内側上顆炎に対する刺鍼
8	上肢の神経痛②	前腕部の絞扼神経症障害の鑑別と刺鍼
9	下肢の神経痛②	下肢の神経痛の原因となる臀部への刺鍼
10	復習	
11	試験	
12	試験	

3学期 担当教員	相台　悠太	実務者経験	2018年　みろく訪問鍼灸院開業

学習内容	近年、新たに登場した分野である「美容鍼」の基本的知識と手技および婦人科疾患の関わりも含め 身体のトータルケアを目指すことができるよう、現代医学的な治効理論や科学的情報の活用を学びます。
到達目標	①「美容鍼」に必要な基礎知識を修得することができること ②臨床現場で活用ができることを目標とします。

準備学習 時間外学習	消毒・押手・切皮・抜鍼など刺鍼に関する基礎動作を各自再確認するようお願いいたします。
使用教材	自立する手鏡の持参をお願いいたします。
留意点 備　考	衛生管理には特に注意してください。

成績評価	期末実技試験(100%)を成績評価とします。

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	自己紹介と生徒の実技度合いの確認
2	美容鍼実技	頭頂部への刺鍼と通電
3	美容鍼実技	頭頂部への刺鍼と通電
4	美容鍼実技	側頭部への刺鍼と通電
5	美容鍼実技	側頭部への刺鍼と通電
6	美容鍼実技	顔面神経部への刺鍼と通電
7	美容鍼実技	顔面神経部への刺鍼と通電
8	美容鍼実技	実技の総復習①
9	美容鍼実技	実技の総復習②
10	試験	試験
11	試験	試験
12	美容鍼実技	美容鍼実技の不明点や質問、臨床での応用

科目名【英】	臨床実習②【Clinical Education】			必修/選択	必修	授業形式	臨床実習
				総時間数	136	単　位	3
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	火・金曜	時　限	3.4限

担当教員	丸茂　美保子	実務者経験	1992年～2004年　鍼灸院、整形外科に所属 2004年～2014年　教員養成・専門学校専任教員　2014年開業
担当教員	村上　朱保	実務者経験	臨床検査技師、はり師きゅう師の国家資格、進級教員免許を保有 臨床検査技師として病院にて10年9か月 鍼灸師として7年間の臨床経験あり 中国の大学病院において中医師インターンとして5年間の実務経験あり 2015年～鍼灸専門学校にて講義・実習を担当

学習内容	学内臨床施設にて学生や学外の患者への対応を実習担当教員の監視の下、実習をおこなう。
到達目標	臨床現場にて、医療面接から得た情報をもとに治療への方針を計画し、実施できる。

準備学習 時間外学習	3年次までに学んだ事柄をまとめておく。
使用教材	鍼灸施術用具
留意点 備　考	・基本的には100％出席にて評価対象となる。 ・担当教員の指導に従う。

成績評価	出席評価+レポート評価【100％】

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	臨床実習についてのオリエンテーション カルテ記載の方法など
2	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
2	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	臨床実習	症例検討　治療練習
2	臨床実習	症例検討　治療練習
3	臨床実習	症例検討　治療練習
4	臨床実習	症例検討　治療練習
5	臨床実習	症例検討　治療練習
6	臨床実習	症例検討　治療練習
7	臨床実習	症例検討　治療練習
8	臨床実習	症例検討　治療練習
9	臨床実習	症例検討　治療練習
10	臨床実習	症例検討　治療練習
11	臨床実習	症例検討　治療練習
12	臨床実習	症例検討　治療練習

科目名【英】	総合領域① 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1 2学期：木曜 3学期：水曜	時　限	1学期:1限 2 3学期:2限

1学期 担当教員	中土　育弘	実務者経験	2016年4月～2019年3月　鍼灸師学科　専任教員として勤務 2023年10月～　鍼灸接骨院開業

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習を行う。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1、2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	平常点【小テスト】（30点）、定期試験（70点）にて評価

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	生理学の基礎、循環	細胞の状態、血液、血液循環について説明できる。
2	循環、呼吸	心臓、脈管系、呼吸とガス交換について説明できる。
3	消化と吸収、代謝	消化管の運動、消化液、代謝、栄養素について説明できる。
4	体温、排泄	体温調節、体熱の産生と放散、発汗、腎臓、尿生成、畜尿と排尿について説明できる。
5	内分泌	ホルモンの種類と働きについて説明できる。
6	生殖・成長と老化	生殖器、性周期、妊娠、出産、老化について説明できる。
7	神経	神経の構造と働き、受容体、末梢と中枢神経、反射、脳、脳脊髄液、自律神経について説明できる。
8	筋・運動	骨格筋、筋線維、興奮収縮連関、筋のエネルギー、筋の受容器、運動ニューロン、反射、について説明できる。
9	感覚	感覚受容器、体性感覚、内臓感覚、特殊感覚について説明できる。
10	生体の防御機構、 身体活動の協調	生体の防御機構、身体のホメオスタシスについて説明できる。
11	振り返り	まとめの講義
12	定期試験	定期試験

2 3学期 担当教員	山口　隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備　　考	

成績評価	2学期　定期試験（70%）　小テスト（30%）　　3学期小テスト（１００%）

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	呼吸	解剖・生理について説明できる。
2	呼吸	解剖・生理について説明できる。
3	呼吸	疾患について想起できる。
4	腎臓	解剖・生理について説明できる。
5	腎臓	解剖・生理について説明できる。
6	腎臓	疾患について想起できる。
7	内分泌	解剖・生理について説明できる。
8	内分泌	解剖・生理について説明できる。
9	内分泌	疾患について想起できる。
10	体温	生理学について得s爪倚出来る
11	振り返り	まとめ
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	婦人科疾患	子宮頚癌～子宮内膜症について説明できる。
2	消化器	解剖・生理について説明できる。
3	消化器	解剖・生理について説明できる。
4	消化器	疾患について想起できる。
5	生殖器	男性生殖器について説明できる。

6	生殖器	女性生殖器について説明できる。
7	膠原病	典型6疾患を列挙できる。
8	膠原病	疾患について想起できる。
9	肝臓・胆のう・膵臓	解剖・生理について説明できる。
10	肝臓・胆のう・膵臓	疾患について想起できる。
11	血液疾患	貧血
12	血液疾患	白血病・紫斑病・血友病

科目名【英】	総合領域② 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：金曜 2学期：月曜 3学期：金曜	時　限	1学期：2限 2学期：2限 3学期：1限

1学期 担当教員	今井　亜里紗	実務者経験	2020年4月～2026年3月　鍼灸院に所属

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	1学期：本試験【80%】＋小テスト・平常点【20%】

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	東洋医学概論の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	東洋医学概論の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	東洋医学概論の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	東洋医学概論の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	東洋医学概論の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	東洋医学概論の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
10	試験案内	復習
11	復習	復習
12	試験	試験

2学期 担当教員	高木　健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備　　考	

成績評価	1.2学期：平常点【小テスト】にて評価【100%】3学期：本試【70%】+小テスト【30%】

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
10	試験案内	復習
11	復習	復習
12	試験	試験

3学期 担当教員	坂井　優志	実務者経験	金沢武士団アスリート整骨院にて１年間施術担当

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。

使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

３学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	解剖学の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	解剖学の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	解剖学の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	解剖学の言葉を列挙できる
10	国家試験対策⑩	解剖学の言葉を列挙できる
11	国家試験対策⑪	生理学の言葉を列挙できる
12	国家試験対策⑫	生理学の言葉を列挙できる

科目名【英】	総合領域③ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	月曜	時　限	3限

担当教員	松本　栞	実務者経験	2013年3月～2014年9月　鍼灸整骨院に所属 2024年～鍼灸院勤務　2025年～開業

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
2	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
3	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
4	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
5	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
6	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
7	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
8	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
9	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
10	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
11	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
12	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。

科目名【英】	総合領域④【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	木曜	時　限	2限

担当教員	山本　岳	実務者経験	学校附属診療所にて３年間勤務

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	平常点【小テスト】にて評価【100%】	

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	国家試験に出題される解剖学の内容を説明できる。
2	国家試験対策②	国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
3	国家試験対策③	国家試験に出題される病理学の内容を説明できる。
4	国家試験対策④	国家試験に出題される臨床医学総論の内容を説明できる。
5	国家試験対策⑤	国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
6	国家試験対策⑥	国家試験に出題されるリハビリテーション医学の内容を説明できる。
7	国家試験対策⑦	国家試験に出題される東洋医学概論の内容を説明できる。
8	国家試験対策⑧	国家試験に出題される経絡経穴概論の内容を説明できる。
9	国家試験対策⑨	国家試験に出題される東洋医学臨床論の内容を説明できる。
10	国家試験対策⑩	国家試験に出題されるはりきゅう理論の内容を説明できる。
11	国家試験対策⑪	国家試験に出題される問題の内容を説明できる。
12	国家試験対策⑫	国家試験に出題される問題の内容を説明できる。

科目名【英】	総合領域⑤【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	木曜	時　限	1限

担当教員	竹中　美樹	実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	平常点【小テスト】にて評価【100%】

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	衛生学・公衆衛生学①	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
2	衛生学・公衆衛生学②	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
3	衛生学・公衆衛生学③	まとめ
4	病理学①	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
5	病理学②	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
6	病理学③	まとめ
7	経絡経穴概論①	国家試験対策 国家試験に出題される経絡経穴概論の範囲の言葉を想起できる。
8	経絡経穴概論②	国家試験対策 国家試験に出題される経絡経穴概論の範囲の言葉を想起できる。
9	経絡経穴概論③	まとめ
10	まとめ	まとめ
11	試験	試験
12	試験返却	試験解説

科目名【英】	総合領域⑥【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	月曜	時　限	1限

担当教員	山口　隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
2	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
3	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
4	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
5	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
6	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
7	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
8	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
9	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
10	法規　衛星　医概	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
11	法規　衛星　医概	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
12	法規　衛星　医概	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる